

支援物資 詰め込み

きょう現地へ出発

インド西部地震

AMDA

一月二十六日発生したインド西部地震の被災者支援のため、国際医療ボランティア団体AMDA（本部・岡山市櫛津）は一日、岡山空港から航空機で救援物資を送る。三十一日、同空港で全国から届いた救援物資の仕分け作業を行った。

物資は三十日から受け付十箱や毛布、医薬品などもけ、県内各地をはじめ沖繩 贈られ、AMDA職員や学や東京などから毛布約千枚 生ボランティアら約二十人やテント、医薬品などが続 が、岡山空港格納庫で仕分々と届いた。三十一日には けし丁寧に段ボール箱に詰岡山市から水の缶詰三百六 め込んだ。

航空機には小型土木機械なども搭載。調整員小平雄一さん（三）岡山市川原三の救援チーム第二陣も乗り込み、一日午後、被害の大きかったアーメダバードに向けて飛び立つ予定。

AMDAは既に岡山市の医師三宅和久さん（三）らを被災地に派遣。三宅さんはインド西部の都市アンジャールで診療活動を行い、診察した約半数が縫合が必要なのが負っていると報告



全国から届いた物資を任分けし、段ボールに詰め込むボランティア岡山空港

してきたという。

AMDAが航空機を調達して救援物資を送るのは、一九九六年の中国・雲南省の大地震以来。

書き損じはがきや未使用切手のほか、寄付金を郵便振替（口座番号0125012140709、通信欄

にインド西部と記入）で募っている。問い合わせはAMDA本部（086-284-7730）。